

[台湾]【LINE Pay】交通系ICカードおよび電子決済サービスプロバイダのiPASS(一卡通)への出資を発表

2018.01.16 Fintech関連サービス

台湾で「LINE Pay」（<http://line.me/pay>）を運営するLine Biz+ Taiwan Limitedは、2017年12月28日、主要株主としてiPASS Corporationに投資し、電子決済の開発に携わっていくことを発表いたしました。LINE Payは、本提携を通じ、電子決済サービスに事業を拡大し、2018年において関連サービスの開発を加速させてまいります。

「LINE Pay」は、継続的なサービス最適化および、多様な決済方法を提供するために、現在台湾で唯一、交通系ICカードの発行と電子決済運営ライセンスの両方を保有するiPASS Corporationへの投資を決定いたしました。両社は、交通系ICカードおよび電子決済の2つの領域で協力し、最高のユーザー体験を提供することを目指し、関連サービスの開発を行う予定です。

台湾におけるユーザー数が220万人以上にのぼる「LINE Pay」は、ユーザーが自身のLINEアプリで登録したクレジットカードまたはデビットカードより支払が可能なモバイル決済サービスです。「LINE Pay」はLINEプラットフォーム上のEコマースサービスやLINE@、LINEポイントだけでなく、20,000件以上のオンライン／オフラインにおける多様なパートナーと提携しています＊。また、「CTBC LINE Pay提携カード」の発行枚数は100万枚以上にのぼります。さらに、1日の最大取引件数は34,000件以上、決済高は約4,600万台湾ドルを記録するなど、モバイル決済エコシステムの拡大を続けています。その他、台湾でのCSR活動として、LINE Payドネーションページ (<https://lin.ee/ewUv86k>) を運営しています。

(LINE Payの台湾における沿革については表1を参照)



＊: LINE Payの台湾における主要パートナーには、新光三越、台北101、漢神百貨、漢神アリーナショッピングプラザ、Dream Mall、統一時代百貨(高雄店)、GlobalMall、Miramarなどのデパートや、ホテルチェーンの雲朗ホテル、台北マリオットホテル、ザ・シャウッド台北、主要コンビニ、ワトソンズ、STUDIO Aなどのショップ、ワーナー・ビレッジ、Showtime Cinemas、ドリンクスタンドチェーンの茶湯会などがあります。現在2万以上のパートナーを有しており、引き続き拡大中。

[表1] LINE Payの台湾事業の沿革

日付	内容
2015.8	「LINE Pay」正式リリース オンラインパートナー30社
2015.12	オンラインパートナー100社突破 クリスマスギフト交換キャンペーンを実施
2016.2	台湾南部地震被災者への寄付プラットフォームをリリース
2016.4	ユーザー数100万人突破 初のオフラインパートナーとして「Miramar Entertainment Park」を発表
2016.8	LINE Payドネーションページ正式リリース
2016.10	オフラインパートナーに「セブンイレブン」と「ファミリーマート」が追加
2016.12	中国信託商業銀行と協力し、「CTBC LINE Pay提携カード」をリリース オフラインパートナーに「新光三越」が追加
2017.1	Song Joong Kiが「CTBC LINE Pay提携カード」の名誉大使に就任
2017.4	オフラインでのLINEポイントによる支払い機能をリリース

2017.9	ユーザー数 220万人突破 オフラインパートナーに「ワトソنز」、「STUDIO A」、「Hi-Life」が追加
2017.10	オフラインパートナーに「台北マリオットホテル」、「ザ・シャークウッド台北」が追加
2017.11	電子領収書機能リリース オフラインパートナーに「漢神百貨」、「漢神アリーナショッピングプラザ」、「Showtime Cinemas」が追加
2017.12	「CTBC LINE Pay提携カード」の発行枚数100万枚突破 オフラインパートナーに「茶湯会」、「ワーナー・ビレッジ」が追加 電子マネーアプリiPASS(一卡通)へ投資し、電子決済アプリの成長支援を発表